

## オープン市場短信（2015年5月）

2015.5.13

### ◆ 4月のCP市場動向

4月のCP（短期社債）月末残高は15兆7944億円と、9か月連続前年同月比増となった。3月末に残高を減少させた企業の復活発行や新規資金調達が行われたことから、前月比では1兆5773億円の増加であった。一般事法では、1兆2471億円の増加。期末に残高ゼロとなった鉄鋼が3660億円の増加、卸売や情報通信も大幅増加となり、多くの企業で資金調達の動きが見られた。また、その他金融が4787億円の増加、金融機関でも266億円の増加となった。ABCPは、決算期末要因が剥落し1751億円の減少となった。

発行レートの動きについては、投資家の購入ニーズが強く先月とは異なりショートターム物にもしっかりと買いが入るなど、全般的に低下地合いで推移した。一般銘柄では0.08%台が中心で、鉄鋼や石油など発行量の多い銘柄でも0.09%台前半から0.11%近辺の出会いとなっていた。

### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格)0.0849%~0.090%。一般事業法人(a-1格)0.064%~0.110%。

その他金融銘柄(a-1格)0.0815%~0.145%。

### 【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	4月末残高	3月末残高	増 減
一般事法	39,493	27,022	12,471
その他金融	64,010	59,223	4,787
金融機関	38,465	38,199	266
政府系金融	0	0	0
銀行等	15,189	14,128	1,061
証券	23,276	24,071	-795
ABCP	15,976	17,727	-1,751
計	157,944	142,171	15,773

(注:買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

3月のCPLレートレンジ

(単位 %)

格 付	1ヶ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+(一般事法)	—— ~ ——	0.0830% ~ 0.0846%	0.0849% ~ 0.0900%
a-1(一般事法)	0.0810% ~ 0.1010%	0.0780% ~ 0.1100%	0.0640% ~ 0.1100%
a-1+(リース銘柄)	0.0820% ~ 0.0840%	0.0830% ~ 0.0860%	0.0850% ~ 0.0870%
a-1(リース銘柄)	0.0960% ~ 0.1120%	0.0900% ~ 0.1350%	0.0815% ~ 0.1450%
a-2	0.1000% ~ ケ0.25%	0.0990% ~ ケ0.25%	0.1000% ~ ケ0.25%

《CPオペ》

CP買入オペは、7日・16日・24日と各々4000億円にてオファーされた。7日のオペでは、期明けで応札可能銘柄が前回オペより増加したこともあって、応札額が1兆円を超え按分レート・平均レート共に上昇した。16日・24日のオペでは、応札可能銘柄が限られ応札額が8000億円前後に止まった事や足元現先レートも落ち着いて推移していたため、低下する動きとなった。

(月末オペ残高:2兆2069億円)

日銀 CP等買入れオペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
4月7日	4月10日	4,000	11,400	3,997	0.080%	0.086%	85.4%
4月16日	4月21日	4,000	7,978	3,994	0.073%	0.074%	4.4%
4月24日	4月30日	4,000	8,449	3,990	0.074%	0.079%	

《ABCP》

ABCPの月末残は、期末要因が剥落し前月比1751億円減の1兆5976億円であった。前年同月比では1045億円減少する結果となった。

《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、4月末時点における発行登録企業数は、三菱UFJ証券HDとグリーが新規登録を行ったため、2社増加し500社となった。

通算の発行企業数は変わらず、538社。

《CP現先市場》

現先(S/N)レートは、前月より低下し0.06%台半ば~0.08%台前半とワイドレンジでの出会いとなった。

## ◆ 5月のCP市場動向

5月のCP償還額は約2兆8700億円で、前年同月の償還額(約2兆5600億円)を上回っている(除く、相対発行分・金融機関発行CP・ABCP)。

今月の発行動向は、中旬以降から企業の賞与資金や税払い等の資金調達ニーズが生じるため、期落ち比増加が予想される。月末残高は、16兆円台半ばから後半と思われる。発行レートについては、最上位銘柄は投資家ニーズ強く0.07%台前半から0.08%台前半での出合いを予想する。一般銘柄では0.08%前後～0.09%台前半で、発行量の多い銘柄では0.09%台前半から0.10%台後半での出合いを予想する。その他金融・リース銘柄(a-1格銘柄)では、0.09%台前半～0.15%近辺を予想する。

### 《CPオペ》

今月は、8日(実施済)・18日・26日と、計3回の入札が何れもオファー額3500億円にて予定されている(4月は、各回4000億円のオファー)。8日のオペは、オファー額の減額と応札可能銘柄が多く応札が1兆円弱となった事もあって、按分レート・平均レート共に前回レートを上回る結果となった。次回以降は発行レートと応札可能銘柄にもよるが、現先レートが落ち着いていることもあり、横這いからやや低下地合いとなるのではないかと見られる。

### 《CP現先市場》

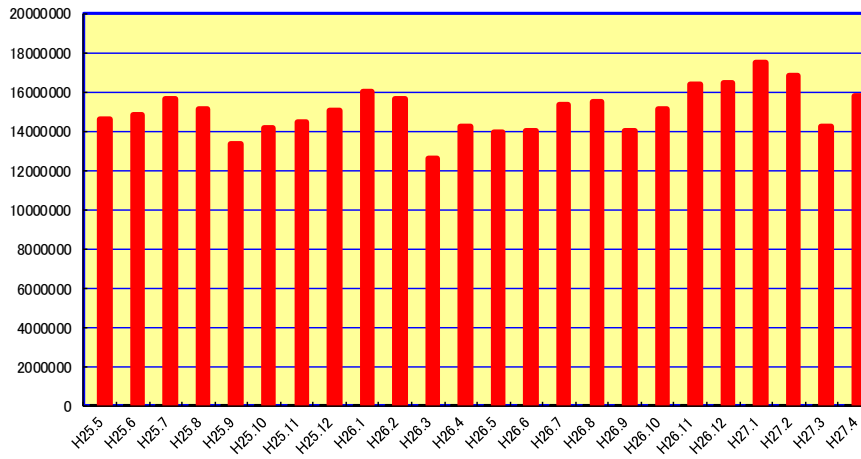
S/N物のレポレートは、現状0.02%前後～0.03%台の出合いとなっている。月後半に上昇しても0.07%割れではないかと見られる。インターバンクレートは、0.05%台～0.07%近辺での動きを予想する。CP現先レートは、先月同様0.06%台前半～0.08%前後での出合いとなっている。中旬以降、新規発行増が予想されディーラーの保有も多くなると見られるが、投資家の運用ニーズも強く横這い推移を予想する。

**参考資料**

**短期社債月末残高(25年5月～27年4月)**

発行登録企業：500社（発行実績あり538社）

（過去2年間の残高を表示）



#### 4 月末発行残高ベスト 20

#### 4 月末発行残高上位 20 社

(単位: 百万円)

	発行企業名	4月末残高	3月末残高
1	三菱UFJリース	812,800	777,500
2	三井住友ファイナンス&リース	802,600	803,100
3	三菱UFJモルガンスタンレー証券	709,800	818,500
4	東京センチュリーリース	623,100	611,300
5	SMBC日興証券	573,700	520,700
6	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	511,230	555,060
7	みずほフィナンシャルグループ	500,000	500,000
8	大和証券	442,880	388,380
9	みずほ証券	431,000	456,500
10	JXホールディングス	375,000	364,000
11	三井住友信託銀行	358,400	293,300
12	日本証券金融	344,000	440,000
13	興銀リース	340,300	340,000
14	芙蓉総合リース	338,700	323,700
15	JA三井リース	337,000	337,000
16	三菱商事	299,000	10,000
17	スタンダードチャータード銀行	286,500	268,500
18	エイペックス・ファンディング	280,100	296,350
19	NTTファイナンス	239,000	207,000
20	ホンダファイナンス	228,000	222,000

参考出所 (株)証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第 243 号

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会